

ご入会の手続き

- STEP 1** 「定款」「倫理規定」に同意後、「入会申込書」と「誓約書」に記入捺印し、事務局にご提出ください。
- STEP 2** 事務局から「年会費の請求書」および「会員証」をお送りいたします。
- STEP 3** 年会費をお振り込みください。(これで手続き完了となります)

年会費(入会金無料)

- 個人 12,000円
団体 A 100,000円(団体規模30人以上)
団体 B 80,000円(10人以上30人未満)
団体 C 40,000円(10人未満の規模)

会員サービス

- 日本CM協会主催の各種催しに会員価格にて参加
- 日本CM協会機関誌『CMAJ』(定価2,200円、季刊)の無料配布
- 団体会員の職員も各種催しに会員価格にて参加
- CCMJ資格試験 受験料の割引
- 会員相互のネットワーキング機会の提供

基本理念

一般社団法人日本コンストラクション・マネジメント協会(以下日本CM協会という)は、「健全な建設生産システムの再構築」と「倫理観をもったプロフェッショナルの育成」を目標に活動すること、ならびにコンストラクション・マネジメント(以下CMという)の健全な普及発展をはかることを通して、本協会に対する社会の信頼を得ていくために、ここに基本理念を定める。

【目的】

1. 日本CM協会は、建設分野におけるCM手法の発展と普及を目指し、会員相互が協力することを宣言する。

【活動規範】

2. 日本CM協会は、本会会員(以下会員という)がCM業務を遂行する上で遵守すべき倫理を定める。
3. 日本CM協会は、CMに関する学術・芸術・技術の交流の場としての学術団体的機能とCMの普及・発展を目指す実務的協会機能を合わせ持つ。
4. 日本CM協会は、CMの普及・発展のみならず、建設生産システムの多様な展開に貢献する。

【社会との関係】

5. 日本CM協会は、関連団体との連携をはかり、また、社会との交流に努め、開かれた協会を目指す。

【運営】

6. 日本CM協会は、常に情報公開に努め、透明性の高い活動ならびに組織運営を行う。
7. 日本CM協会は、会員の活動の自由を尊重する。

【基本理念の改廃】

8. この基本理念の改廃は、総会の決議による。

一般社団法人 日本コンストラクション・マネジメント協会

本部

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館6階
TEL: 03-5730-7791 FAX: 03-5443-3965
Email: hq@cmaj.org <https://www.cmaj.org/>



東北支部 事務局

〒980-0821 宮城県仙台市青葉区春日町11-33
ライオンズマンション春日町第二101号 TEL: 022-748-7045
Email: tohoku@cmaj.org

東海支部 事務局

〒451-0051 愛知県名古屋市西区則武新町三丁目1番17号
BlZrium名古屋4階 (株)ユース計画研究所内
TEL: 052-433-5750 FAX: 052-433-5751
Email: tokai@cmaj.org

北信越支部 事務局

〒930-0094 富山県富山市安住町7-1 富山県建築設計監理協同組合気付
TEL: 076-432-9785 FAX: 076-432-9786
Email: hokushinetsu@cmaj.org

関西支部 事務局

〒540-0034 大阪府大阪市中央区島町2-4-7
(株)安井建築設計事務所 大阪事務所内 TEL: 06-6943-1371
Email: kansai@cmaj.org

中国四国支部 事務局

〒730-0051 広島県広島市中区大手町3-8-24 大旗連合建築設計(株)内
TEL: 082-909-2487 FAX: 082-244-2642
Email: chugokushikoku@cmaj.org

九州支部 事務局

〒814-0103 福岡県福岡市城南区鳥飼5-20-11 (株)志賀設計内
TEL: 092-834-2721 FAX: 092-834-2721
Email: kyushu@cmaj.org

その他

CMスクール事務局 Email: cmschool@cmaj.org
CM選奨事務局 Email: sensyo@cmaj.org
資格委員会事務局 Email: shikaku@cmaj.org
試験委員会事務局 Email: shiken@cmaj.org

日本CM協会のご案内

一般社団法人 日本コンストラクション・マネジメント協会

CM方式のさらなる普及と担い手の育成

複雑化、高度化する建物・施設の発注やプロジェクト管理の課題への解決策として期待されるCM方式。日本CM協会は、発注者、受注者双方の理解を深めることでCM方式の普及を図るとともに、CM方式の担い手となるCMrの育成に努めています。

日本CM協会 とは

官民、産官学、建築・土木にわたる幅広い活動

日本CM協会では、官民、産官学、あるいは建築・土木の垣根なく、CM事業者以外にも発注者、設計者、建設コンサルタント、建設業者、専門工事業者など、建設プロジェクトに関係するさまざまな分野の会員が、幅広い活動を行っています。

普及活動とCMアソシエイト制度

自治体、学生への情報提供

CM方式のさらなる普及と裾野拡大に向け、地方自治体や民間企業の発注者領域、建設会社などの受注者領域、地方設計事務所や将来の候補となる学生などのCM担い手領域を対象とした普及活動を推進しています。

主に自治体職員を対象にCM方式導入に向けた最新情報の提供やCMの担い手へのノウハウ共有などを行うCM普及セミナー、大学への出張講義など、さまざまなイベントも実施しています。

また、官公庁職員や学生などCMに関わりや興味をお持ちの方々を対象とした「CMアソシエイト」会員には、CMに関する最新情報の配信を行っています。



大学での出張講義

CM選奨

優れた事例の顕彰と共有

CM選奨制度の目的は、優れたCM事例を顕彰することで、CM方式のさまざまな活用方法やモデルを共有し、CM手法の更なる発達を促すとともに、CM方式の有用性を社会にアピールしていくことにあります。

CM手法の活用により、優れた成果を上げたプロジェクト事例であれば、公共・民間、土木・建築、住宅・非住宅、新築・改築の別を問わず応募することが可能で、さまざまな立場から選出された審査員の幅広い知見をもとに選定されます。

また、個人住宅などの小規模プロジェクトを応募対象とした部門を設けるなど、より広い分野へと対象を拡げています。



CM選奨 表彰状と記念品

『CMガイドブック』の刊行

CMの実務と知識の体系化

「日本で唯一のCM教本」の基本概念に基づき、実務標準と知識体系を包含したCMrの指南書として、更には発注者・設計者・監理者・工事施工者・教育関係者・学生も対象とした参考書として、2004年に初版を刊行しました。

その後、CM方式を取り巻く環境は大きく変化し、建設プロジェクトにおけるDX・脱炭素の推進、建設産業における働き方改革・持続可能な事業環境の促進、CM方式における活用実績・発注方式の更なる増大と多様化などの動向を踏まえて、2025年に改訂第4版を発行します。



『CMガイドブック』

広報活動

社会からの認知向上

多くの方に入会していただくために、ホームページ、パンフレット、機関誌(季刊)、メルマガ、会員交流、外部交流等の広報機能全体を集約し、協会内だけでなく外部に対しても戦略的に広報活動を推進しています。

当協会のホームページについては、「CMのポータルサイト」とすることを目標に運営と改善を進めています。また機関誌については、会員への情報サービスの充実だけでなく、外部の方や関係者からも見てもらえるような情報発信誌とすること念頭に編集しています。その他、IT・デジタル関連の取り組みも推進し、対外的なアピールを進めています。



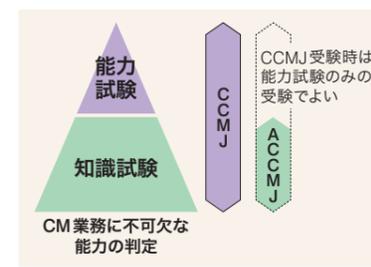
機関誌「CMAJ72号」(2023.8)

資格試験・CPD研修

CCMJ(認定コンストラクション・マネジャー)資格制度の運営

認定コンストラクション・マネジャー(CCMJ: Certified Construction Manager of Japan)資格制度によりCM方式の優れた担い手(CMr)を認定しています。CCMJ資格は、国土交通省の「地方公共団体におけるピュア型CM活用ガイドライン」(2020年9月)でも建築事業の管理技術者の資格要件のひとつに挙げられ、公共・民間を問わずCMr選定のプロポーザル参加要件などでも広く活用されています。

更に、常に化する顧客・社会からの多様なニーズに呼応するため、継続的な能力開発プログラム(CPD研修制度)による資格更新を実施しています。



CCMJ資格試験の概念

調査・研究

現状と課題の把握

CM制度に関するアンケート調査をはじめ、国内外の双方を視野に入れた調査・研究活動を実施しています。国内に対しては、国内市場の基盤整備を念頭に、CM方式の導入が進んでいない地域での地産地消型CM育成のための支援活動のほか、CM方式未着手分野に対するマーケティングとアクションを推進しています。

海外市場に対しては、日本型CMの国際的普及を目指し、海外での事例の収集や、今後とも増加が見込まれるインバウンド、アウトバウンド関連プロジェクトに対する対応力の強化に向けた各種ツールの整備も進めています。



教育活動

CM人材の育成と能力向上

すでにCM業務に従事されている方、今後の取り組みを検討されている方、双方を対象に人材育成と能力向上のプログラムを提供しています。

「CMスクール」では、建築の専門技術のほか、法律、契約、ファイナンスなどマネジメントに必要な幅広い分野から要点を抽出し、体系的なカリキュラムを組み立てています。「CMAJフォーラム」は、さまざまなテーマや事例について専門分野のプロフェッショナルをお招きする講演会です。実践的な知見を得るだけでなく、効果的なネットワーキングの場としても活用いただけます。主な講習会: 「CMスキルアップ・セミナー」「CMスクール」「CMガイドブック集中講座」「CMAJフォーラム」



CMスクール実施風景

CM賠償責任保険

リスクへの対応と信頼の向上

CM方式が普及、定着しつつある一方、CM事業者が適正な業務遂行に力を注ぎ、品質管理に万全を期したとしても、不測の事故を完全に排除することは困難と言わざるを得ません。万が一、不測の事故が発生した場合でも、CM事業者として責任を持って対処するための体制を整えておくことは極めて重要です。その体制づくりの一環としてCM賠償責任保険制度は創設されました。保険制度の保障の充実や普及促進により、CM業務の健全な普及に貢献します。



CM賠償責任保険ご案内